

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.7.25 No. 141 連絡先 FAX 042-555-1911



7.16原発いらない大集会に17万人!

16日、代々木公園で開かれた「さようなら原発10万人集会」は、炎天下、全都道府県から参加した17万人（主催者発表）で埋め尽くされ、野田内閣に原発からの撤退を迫りました。

この日の集会は、ノーベル賞作家の大江健三郎さん、落合恵子さん、鎌田慧さんら著名人がよびかけたものです。

2012原水爆禁止国民平和大行進 西多摩と岡山と

2012 原水禁国民平和大行進の西多摩コースは、7月20日、①あきる野、②青梅・羽村・福生、③瑞穂の3コースで行進が行われ、福生公園で終結集会を行い昭島に引き継ぎました。

一方、東京・夢の島を出発し広島をめざして90日間の平和行進に参加している渡邊さんは、75日を歩き続け、この日、岡山県岡山市から集会にメッセージを寄せてくれました。体調は良好とのこと。



MV22オスプレイ12機 岩国に陸揚げ認めた日本政府

米軍は23日、岩国基地（山口県）に垂直離着陸機 MV22 オスプレイの陸揚げを強行しました。山口県知事、岩国市長と市議会が陸揚げに反対し、沖縄でも県と全市町村の首長と議会が反対、全国知事会も受け入れ反対の緊急決議を採択。22日は岩国で緊急集会が開かれ、岩国市民や中四国地域の代表、沖縄、東京、関西などから1100人が集まりました。（写真：米海兵隊 HP）



横田基地へのオスプレイの飛来・訓練計画の中止を!

7月25日、日本平和委員会、東京平和委員会は、横田基地への欠陥機オスプレイの展開・訓練の中止と、岩国・沖縄への配備計画の中止を求めて、防衛省交渉を行いました。横田基地周辺の住民らも参加しました。

この中で防衛省側は、横田基地へのオスプレイの飛来も否定しないし、訓練もありうる、と発言しました。（詳細次号、写真提供：日本平和委員会）



横田基地撤去! オスプレイ配備するな!

暑い中、横田基地の撤去を求める西多摩の会（代表：松山清）の主催する第40回の毎月第3日曜日行動は7月15日行われました。

第41回 横田基地撤去の座り込み行動は

8月19日（日）午後1時30分～3時30分

福生公園（当日、横田基地友好祭が実施されるため会場変更です）



横田基地の撤去を求める西多摩の会 定期総会のお知らせ

日時：8月25日（土）午後1時30分開会 会場：羽村市 ゆとろぎ 2F 講座室1

オスプレイ事故58件 2006年から5年間 米軍資料で判明 (No.141の裏面)

23日に岩国基地（山口県岩国市）へ陸揚げされた米海兵隊の垂直離着陸機 MV22 オスプレイの事故が 2006年10月～2011年9月までの過去5年間で30件発生し、米空軍仕様の CV22 オスプレイが同期間に起こした事故28件を合わせると、計58件に上ることが米軍の資料で分かりました。ほぼ、月に1回は事故が起こっている計算です。

オスプレイの事故件数 (06.10～11.9)

	クラスA	クラスB	クラスC	計
MV22	2	6	22	30
CV22	2	6	20	28
計	4	12	42	58

米軍は現在、航空機事故について、「クラスA」は死者が出るか200万ドル以上の損害が出たりした事故、「クラスB」は重傷か50万～200万ドルの損害が出た事故、「クラスC」は軽傷か5万～50万ドルの損害を出した事故、と分類しています。

オスプレイは1990年代～2000年代初めの開発・試作段階で墜落事故が多発。今年も4月にMV22がモロッコで、6月にCV22が米フロリダ州で墜落事故を起こしていますが、それ以外にも大小多数の事故が発生していることを示しています。

陸上自衛隊が7月16日～17日「災害対処訓練」 一体何の訓練？

陸上自衛隊第1普通科連隊の約300名が16日から17日にかけて「平成24年度連隊災害対処訓練（23区展開訓練）」を行いました。今回の訓練は自衛隊の「首都直下地震対処計画」の見直しのためとされていますが、この計画自体の公表も拒否しています。

今回の訓練は知事の要請によらない自主出動という例外的な場合を想定しています。具体的などのような事態を想定し、どのような計画のもとで行われる訓練なのでしょう。これでは都民の間で災害対応に名を借りた軍事訓練を行うのではないかとという疑問の声があがるのは当然です。「秘密のベール」に包まれた訓練を、迷彩服を着用して行うことなど、やるべきではありません。

7.16集会に参加した日の夜、日本共産党の大山とも子都議ら3名が、新宿の自衛隊「災害対処訓練」の様子を見に行っています。（写真：大山都議が撮影。以下、区議・近藤なつ子ブログを抜粋）

計画では、10名ずつ位の部隊に分かれて歩き、23時頃、戸山公園に到着、被害状況の偵察、そして迎えに来た車で帰る、という内容になっていました。

新宿区の文書では、戸山公園・箱根山地区の多目的運動広場周辺で実施となっていました。自衛隊が東京都に使用許可申請をしているのは、大久保地区と箱根山地区の両方だったので、大山都議と私は自転車で、行ったり来たりと3往復くらいしました。途中で白いジープが待機しているのを見つけ、これは必ず来るねと…

ついに、いつも子どもたちがサッカーや野球の試合をする多目的運動場にジープが4台来て、入って行きました。東京都に申請したのは大型1台でしたが、来たのは2台、グラウンドに入るのがやっとでした。



待ちかまえていると、12時10数分、ついに歩行部隊が来た！

43名全部が一列になって箱根山通りを上がって来た！

帽子に“災害訓練”と書いてありますが、「やっぱり異様！」

この様子を見て、4名の一般市民が何事かと追っかけてきました。

自衛隊員は、グラウンドの中で整列し、被害状況等の偵察はなく、間もなく大型車に半分ずつ乗り込み、帰って行きました。

一体何の訓練だったのでしょう？？ 最後の1台が出て行く直前、区の手がやってきましたが、区との連携とは何だったのでしょう！

